

PAT-NO: JP403151915A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03151915 A

TITLE: MANUFACTURE OF PLANT POT COVER

PUBN-DATE: June 28, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAKUBO, YOSHIICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK TAKUBO KOGYOSHO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP01290782

APPL-DATE: November 7, 1989

INT-CL (IPC): A47G007/08, A01G009/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable compact packing upon dismantlement and facilitate mass transportation by fixing an upper and bottom lids with rivets inserted from the outside of the lids at proper positions toward a polyhedral cylinder and inserting a plant pot into the cylinder through an insertion inlet formed in the central part of the upper lid to be supported on the bottom lid.

CONSTITUTION: A flat rectangular plate (original plate) is formed in a half

outer plate of four-surfaced bent plates 1 and 1' by bending three lines of continuous pieces (b) in the same direction as a coupling piece 1a. Two half

outer plates 1 and 1' are met and coupled at the both ends to form a eight-surfaced cylinder 6. An upper lid 2 and a bottom lid 3 are put over and

engaged respectively with an upper end opening and a lower end opening of the

cylinder 6, so that the four parts can be connected integrally. The upper lid

2 has a circular inlet 7 opened in the central part large enough to insert an

plant pot through. The bottom lid 3 has a circular drain hole 11 of small size. A pair of rivet holes (e) and (e') are formed in the central part of a pair of opposing and standing parts of the cylinder 6, and similarly a pair of

rivet holes (f) and (f') in the central part of a pair of opposing and hanging parts 10' of the lids 2 and 3. A rivet 4 is inserted from outside of the lids 2 and 3 through the rivet holes (f) or (f') and (e) or (e'). The rivet 4 is fixed by a stopper ring 5 engaged therewith on its inner end.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平3-151915

⑤ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)6月28日

A 47 G 7/08
A 01 G 9/02

1 0 1 Z

8206-3B
6702-2B

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全6頁)

⑭ 発明の名称 植木鉢カバーの形成方法

⑯ 特 願 平1-290782

⑰ 出 願 平1(1989)11月7日

⑱ 発 明 者 田 窪 芳 一 愛媛県今治市東村甲738番地1

⑲ 出 願 人 株式会社田窪工業所 愛媛県今治市東村甲738番地1

明 細 書

1 発明の名称

植木鉢カバーの形成方法

2 特許請求の範囲

- (1) 横長矩形板の横方向所定間隔毎の縦列に切抜孔と連続片とを交互に形成列設し、前記各列の連続片を所定角度で同方向へ折曲げることにより、両端部間を開放状の多面曲板を形成し、該多面曲板二枚を一对として各開放面を互に対向させ相対応する開放両端部を突合い状に接合して二倍面の多面筒体を形成し、該多面筒体の上端開口部と下端開口部とに夫々相対応する上蓋と底蓋とを弾性的に被着嵌合して固定し、上蓋の中央部には植木鉢挿入口と、底蓋の中央部には水抜孔を設けるようにした植木鉢カバーの形成方法。
- (2) 横長矩形板の上下両端縁所定間隔毎に内向き折込み補強片を曲成し、同矩形板の左右両端部に所定角度の折曲げ接合片を対設し、該両接合片により両多面曲板を接合して多面筒体を形成

するようにした請求項第1記載の植木鉢カバーの形成方法。

- (3) 横長矩形板の所定間隔毎の縦列に切抜孔と連続片とを交互に形成列設すると共に、同矩形板の前記所定間隔毎の上端縁に沿って内方へ「」形折込み縁を形成し、該「」形折込み縁に対応させて下端縁に沿い内方へ水平折込み縁を設け、左右両端部に所定角度の内向き折曲げ接合片を対設し、前記各列の連続片を夫々所定角度で折曲げて形成した多面曲板二枚を互に対向させ、前記両接合片により一体結合して多面筒状箱体を形成するようにした植木鉢カバーの形成方法。
- (4) 横長矩形板の片面又は両面に柔軟性膜体を貼着して所定間隔毎に折曲げ可能に形成した請求項第1又は第2又は第3記載の植木鉢カバーの形成方向。

3 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

この発明は園芸用の植木鉢外面を覆って保護し美観を付与する植木鉢カバーの形成方法に関する。

「従来の技術」

従来から植木鉢の外面を覆って植木鉢及び植物を保護するための植木鉢カバーその他の類似物は、各種類のものが提供されていて、例えば、植木鉢の外形に合わせた円筒体状のもの又は四角や多角箱状のものなどがあって、これらのものは皆形状が固定的な立体物である。

「発明が解決しようとする課題」

ところで、前記のような植木鉢カバーは形状が固定した立体物で一定空間を占有して嵩張るものであるから、多量のものを取扱う場合に梱包するのに厄介であり、運搬するにも積荷容積が過大となるので大型車輛を必要とし、運送費も多額となるので、商品として一度に多量を出荷するのに不合理的な点があり、構造上に欠陥が認められる。

そこで、本発明において、前記欠陥点を排除するよう、植木鉢カバーの形状構造とその形成方法を改良し、梱包運搬時には分解状態にすることにより小容積にまとめられて取扱いが容易で便利できるようにすると共に、植木鉢外面の装飾をも兼ねて

鉢や植物を保護し、保温断熱効果をも期待できるものを提供することを目的とするものである。

「課題を解決するための手段」

前記課題を解決して目的を達成する手段として、植木鉢カバーを組立分解式に構成することにより運搬時には分解してコンパクトにまとめて梱包でき、多量のものを一括して容易に運搬できるようにするため、その形成方法に次のような特殊な方法を採用するものであって、植木鉢カバーの外周板を二分割に形成し、その半分ずつの外周板を夫々多面曲板状に曲げたり又は之を平面状に展延したりできるように屈伸自在に構成するものであり、それは横長い矩形板（金属板又は合成樹脂板）に横方向所定間隔毎の縦列に切抜孔と連続片とを交互に形成列設して複数列を設け、前記各列の連続片を所定角度で同方向へ折曲げることにより、両端部間を開放させた多面曲板を形成し、該多面曲板二枚を一对として各開放面を互に向合わせにし、両曲板の相対応する各端部を突合い状に接合することにより二倍面の多面筒体を形成し、該多面筒

体の上端開口部に対応して中央部に植木鉢挿入口を開設した上蓋を被着嵌合すると共に、下端開口部に対応して中央部に水抜孔を設けた底蓋を被着嵌合し、上蓋と底蓋の外側適所から多面筒体に向けてリベットを挿着することにより両蓋を固定し、上蓋中央部の挿入口から筒体内へ植木鉢を挿入して底蓋上に支承させるよう構成する方法を採用した。

「作 用」

多面筒体状となる植木鉢カバーの外周面の半分を形成するに、横長矩形板の横方向所定間隔毎縦列に切抜孔と連続片とを交互に形成列設した原形板とし、各列の連続片を所定角度に折曲げることにより多面曲板を形成し、該多面曲板二枚を一对として互に向合い状にして結合することにより、多面筒体の外周板を形成できるから、前記多面曲板の曲成手段が切抜孔の列設により板の剛性を弱めて曲げ加工が容易となり、手曲げ加工にても曲板が形成できるので、前記筒体外周板は折曲げ形成前の二枚の平板状板で需要者まで届け、需要者

において手曲げ加工で筒体を形成できる。

従って、商品として発送する時に分解体として小容積に梱包できる。

「実 施 例」

本発明の各実施例として示した添付図面について説明する。

第1図は本発明の第一実施例植木鉢カバーを示す斜視図、第2図はその分解斜視図、第3図はその外周板半周分の原形板を示す斜視図であって、この植木鉢カバーは第1図に示すよう、八面筒体（八角筒体）6の上端開口部に鉢挿入口を設けた上蓋2と、下端開口部に水抜孔を設けた底蓋3とを夫々被着嵌合させてなる八面筒状箱体であって、第2図によりその各構成部材を説明すれば、1、1'は八面筒体の外周板を二分割形成した半分ずつの両半外周板で左右両端部間を開放した四面曲板であり、2は中央部を広く円形に切抜いて植木鉢挿入口を設けた環状の上蓋であり、3は中央部に円形水抜孔を設けた底蓋であり、4は前記上蓋と底蓋とを外周筒体に固定するためのリベットを示

し、5は前記リベットの内端部に差しこんで抜け止めとなる差込環であり、このリベットと差込環は共に合成樹脂製のものが適する。

前記両半外周板1, 1'は同一物一対を向合い状に合体させるもので、その原形板を第8図に示しており、それは横長矩形板の左右両端部を夫夫同方向へ67.5度角折曲げた縦長帯状の接合片1a, 1aを対設し、該両接合片間の平板部分を横方向四等分に区切り等間隔に定めた縦方向折曲げ予定線に沿って、切抜孔イと連続片ロとを交互に形成して三列に列設し、上下両縁部において前記四等分区切り面毎に夫夫前記折曲げ接合片1aと同方向直角に折曲げた細幅の補強片ハ…を曲成し、各補強片の両端部を斜切して夫夫67.5度角の斜辺ニとなし、前記四区切り面中の一面上下部に夫夫リベット挿通孔ホを設けてある。

そして、前記平面状矩形板(原形板)を三列の各連続片ロ…を接合片1aと同方向へ折曲げ、上下の各補強片の両端斜辺ニ…が互に突合わせになるまで各区切り面を曲げることにより第2図に示す

底蓋3は、外形を前記上蓋2と同形とした八角形板の中央部に小径の円形水抜孔11を設け、外周八辺の各辺縁から夫夫上向きに折上げた各折上片12…の各角部を連結し、その中で対面する一組の両折上片中央部に夫夫リベット挿通孔ベを設けてある。

そして、前記八面筒体6の上端開口部に上蓋2を、下端開口部に底蓋3を夫夫被層嵌合することにより第1図に示すような八面箱体状の植木鉢カバーを構成し、上下両蓋側方からリベット4を挿入しその内端部に差し止め環5を差し入れて固定する。

第4図及び第5図は本発明の第二実施例の植木鉢カバーを示す斜視図と分解図であって、この植木鉢カバーは前実施例と同様に外周板を二分割して四面曲板に形成した両半外周板13, 13'を合体して同様な多面筒体を構成するものであるが、前実施例のような上蓋及び底蓋を必要としないように構成しており、その各部構成を第5図分解図により説明すれば、半外周板13の原形板は13'のように

ように、曲げ角度が夫夫135度角をなす四面曲板となって半外周板1, 1'が形成される。

次に、前記両半外周板1, 1'の開放面を向合い状に対面させ両板の対応端部接合片1a, 1aを突合わせ状に接合することにより第1図のような八面筒体6を形成する。

そこで又、この八面筒体6の上端開口部に上蓋2を、下端開口部に底蓋8を夫夫の弾性を利用して被層嵌合させることにより両多面曲板を一体結合するものであって、前記上蓋2は、前記八面筒体6の上端開口面(八角形)に対応して同形八角形板の中央部を大きく円形に切抜き開口した円形開口7を植木鉢挿入口として開設すると共に、該円形開口の外周縁部を低段円形縁8とその外周部を円形斜面9とに押圧形成してあり、且つ又、同八角形板の外周八辺の各辺縁から下向きに折下げた外周垂片10…を曲成し、これら各垂片の角部を連結させてあり、前記八垂片中で対面する一組の両垂片10'の中央部に夫夫リベット挿入孔ヘを設けてある。

平面状であって前実施例と同じく、横長矩形板の左右両端部を夫夫同方向へ67.5度角折曲げた縦長帯状の両接合片13'a, 13'aを対設し、該両接合片の上下部に夫夫リベット挿通孔トを設けてあり、該両接合片間の平板部を横方向四等分に区切って等間隔に定めた縦方向の折曲げ予定線に沿って切抜孔イと連続片ロとを交互に形成して三列に列設し、上端縁部において四等分区切り面毎に夫夫∟形折曲げ縁バ…を前記接合片13'aと同方向に折曲げ形成し、各折曲げ縁の両端部を夫夫67.5度角斜切して斜辺ニ…となしてあり、下端部においては前記上端∟形折曲げ縁バに対応する水平折曲縁ボを設け、該水平折曲縁の両端部に斜辺チを対設してある。

この原形板13'を三列設した各連続片ロ…を上下端折曲片の方向へ折曲げ、上下各折曲片の各隣接斜辺が互に接合するまで曲げると該折曲げ角度が135度角を保持する四面曲板となって八面筒体の半外周板を形成する。

このようにして形成された四面曲板の半外周板

二枚を互に向かい合わせに合体し相対する端部接合片を突き合せ重合し、両接合片のリベット挿通孔ト…にリベット14を挿通しその突出端部に差し止め環15を差しこんで両接合片を密着固定することにより、両半外周板が一体結合して八面筒体6'を構成する。

そして、前記筒体底部で八辺環状の突縁を形成した曲板下端折曲縁上に、線材を井桁状に組合わしてなる底枠16を載置して之を鉢受部とすることにより、植木鉢カバーが形成され、上端開口部から植木鉢17を第4図に示すように挿入して底枠上に支承させる。18は鉢に植えこんだ植物を示す。

第6図及び第7図に示す第三実施例は、第1図及び第2図に示す第一実施例の外周板外面に沿って柔軟性膜体Sを貼り付けるよう構成したもので、この膜体Sを半外周板が平板状の時に外面へ貼付けて折曲げることにより、外周板の切抜き孔イ…を隠蔽して外面に美観を付与すると共に、筒体を強化保護する。

尚、この膜体の貼り付け方法は、前記第二実施

例にも適用でき、又、之を外周板の内外両面に貼設すれば、尚一層の美観と補強保護効果がある。

「発明の効果」

本発明の曲板形成方法(植木鉢カバーの外周板形成方法)によれば、平板の折曲げ予定線上に列設した切抜き孔によりその曲板加工を容易にして手曲げ加工を可能にしたので、組立分解式に構成した植木鉢カバーの立体物を分解状態にすれば、各構成部材を平板状にして重合させるから梱包容積を小にして需要者まで届けられ、需要者において手曲げ加工で外周板を形成し、之に他の部材を組合わして製品を容易に完成できるから、梱包体を小さくして多量のを一まとめで一度に運搬できるので梱包費と運送費とを割安にして商品単価を低減し需要者に安価で提供できる。

又、第三実施例で示した請求項第4のものにおいては、曲板の折曲げ部で柔軟性膜体により切抜き孔を隠蔽閉塞できるので製品の体裁を良好にして美観を与えると共に、板体を保護強化して製品を堅牢に形成できる。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第一実施例の植木鉢カバーを示す斜視図、第2図はその各組立要部の分解斜視図、第3図はその外周板半分の原形板を示す斜視図、第4図は第二実施例の植木鉢カバーを示す斜視図、第5図はその各部分解斜視図で右側外周板を原形板で示す斜視図、第6図は第三実施例の植木鉢カバーを示す斜視図、第7図はその分解斜視図、第8図はその外周板半分の原形板構造を示す斜視図である。

1, 1'…半外周板、2…上蓋、3…底蓋、4…リベット、5…差し込み環、6…筒体、7…円形開口(植木鉢挿入口)、11…円形水抜口、13, 13'…半外周板、イ, イ'…切抜き孔、ロ, ロ'…連続片、ハ…補強片、バ…J形折曲片、ニ, ニ'…斜辺、ホ…リベット挿通孔、ト…リベット挿通孔、ホ…水平折曲片、チ…斜辺。

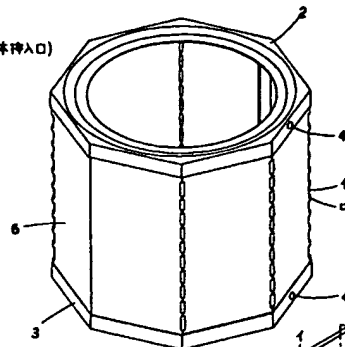
特許出願人

株式会社田窪工業所

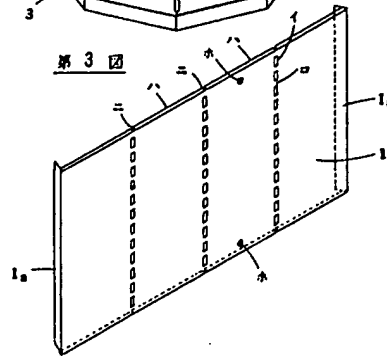
代表者 田窪芳一

- 1, 1' 平外周板 (四面●線)
 1a, 1a' 接合片
 2 上蓋
 3 底蓋
 4 リベット
 5 差し込み環
 6, 6' 筒体 (八面)
 7 内腔開口 (植木鉢挿入口)
 8 低段内腔線
 9 内腔斜面
 10 外周板片
 11 内腔水溢口
 12 折上片
 13, 13' 平外周板
 13a 接合片
 14 リベット
 15 差し込み環
 16 底枠
 17 植木鉢
 18 植物
 5 柔軟性膜体
 イ, イ' 切線
 ロ, ロ' 接線片

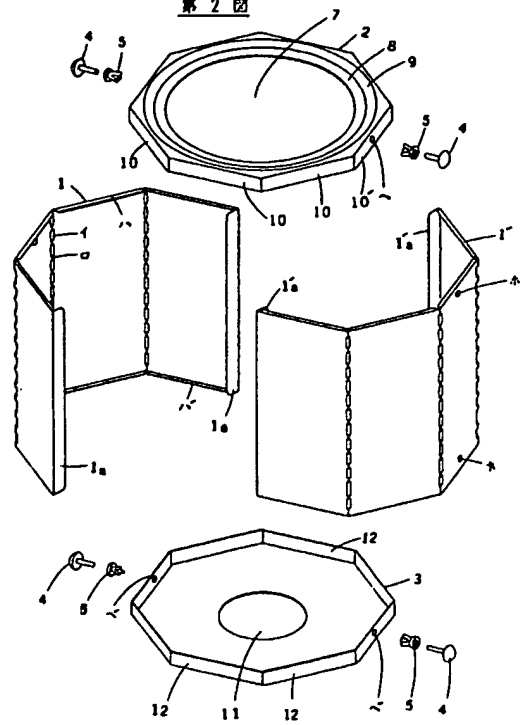
第 1 図



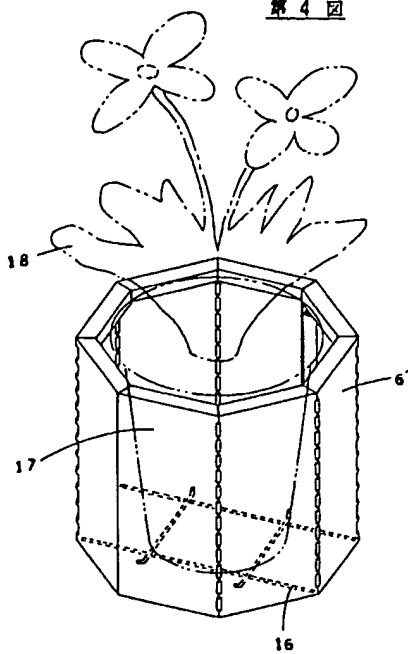
第 3 図



第 2 図



第 4 図



第 5 図

